

お詫びと訂正

2025 年版 大学赤本シリーズ 175 『海上保安大学校／気象大学校』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2023 年度 p.103 下から 9～5 行目

気象大学校：学科試験（記述式）、作文試験 物理 No.1 I.(2)(3) 解答

誤

上の 2 式より a を消去し、(1) で求めた k を代入すれば

$$S = \frac{mk}{M+m}(l_0 - l_2 - x) = \frac{m^2 g \sin \theta}{(M+m)(l_1 - l_2)}(l_0 - l_2 - x) \quad \dots\dots(\text{答})$$

(3) Q が P から離れるとき、 $S = 0$ である。(2) の結果を用いて

$$\begin{aligned} \frac{mk}{M+m}(l_0 - l_2 - x) &= 0 \\ \therefore x &= l_0 - l_2 \end{aligned}$$

正

上の 2 式より a を消去し、(1) で求めた l_0 と k を代入すれば

$$\begin{aligned} S &= \frac{mk}{M+m}(l_0 - l_2 - x) \\ &= mg \sin \theta - \frac{m^2 g \sin \theta}{(M+m)(l_1 - l_2)} x \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

(3) Q が P から離れるとき、 $S = 0$ である。(2) の S の式を用いて

$$x = l_0 - l_2$$

以上